

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2004-361078(P2004-361078A)
 【公開日】平成16年12月24日(2004.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報2004-050
 【出願番号】特願2004-167139(P2004-167139)
 【国際特許分類】

F 2 3 C 99/00 (2006.01)

B 0 1 D 53/56 (2006.01)

【F I】

F 2 3 C 11/00 3 1 7

F 2 3 C 11/00 3 2 3

F 2 3 C 11/00 Z A B

B 0 1 D 53/34 1 2 9 B

【手続補正書】
 【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

大液滴N-剤システムは、煙道ガス内での長い液滴滞留時間と液滴に対する障害物を有する蛇行した流路と狭いN-剤放出温度枠とのような、その有効性を低下させるに足る困難性を有する。液滴が小さ過ぎる場合、煙道ガスがまだ高温過ぎてN-剤を無効にするような最適温度枠よりも上流位置で、液滴がN-剤を放出することになる。このような条件下では、N-剤は NO_x を生成する(減少させるのではなく)可能性がある。一方、液滴が大き過ぎる場合、燃焼ガスが最適温度枠以下に冷却されてしまった後にN-剤の一部が放出されて、煙道ガス出口流における高いアンモニア濃度(アンモニアスリップ)を引き起こす。

【特許文献1】米国特許第 4250820号明細書
 【特許文献2】米国特許第 4253409号明細書
 【特許文献3】米国特許第 4501204号明細書
 【特許文献4】米国特許第 4532872号明細書
 【特許文献5】米国特許第 4699071号明細書
 【特許文献6】米国特許第 4739713号明細書
 【特許文献7】米国特許第 4915039号明細書
 【特許文献8】米国特許第 4926765号明細書
 【特許文献9】米国特許第 5154599号明細書
 【特許文献10】米国特許第 5347958号明細書
 【特許文献11】米国特許第 5425317号明細書
 【特許文献12】米国特許第 5626088号明細書
 【特許文献13】米国特許第 5915310号明細書
 【特許文献14】米国特許第 5934892号明細書
 【特許文献15】米国特許第 5937772号明細書
 【特許文献16】米国特許第 5967061号明細書
 【特許文献17】米国特許第 6039560号明細書

- 【特許文献 18】米国特許第 6058855号明細書
- 【特許文献 19】米国特許第 5085674号明細書
- 【特許文献 20】米国特許第 6199494号明細書
- 【特許文献 21】米国特許第 6206685号明細書
- 【特許文献 22】米国特許第 6244200号明細書
- 【特許文献 23】米国特許第 6325002号明細書
- 【特許文献 24】米国特許第 6325003号明細書
- 【特許文献 25】米国特許第 5139755号明細書
- 【特許文献 26】米国特許第 6048510号明細書
- 【特許文献 27】米国特許第 5536482号明細書
- 【特許文献 28】国際公開第200021647A1号公報パンフレット
- 【特許文献 29】米国特許第 6318277号明細書
- 【特許文献 30】米国特許第 6280695号明細書
- 【非特許文献 1】Vitali V. Lissianski他, “ Optimization of Advanced Reburning Via Modeling ” 1-9ページ, Symposium (International) on Combustion, University of Edinburgh, スコットランド, 2000年7月30日 ~ 8月4日